

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】 19 誰もが安心してスムーズに移動できるようにする
 【施策】 1 歩行者等が移動しやすくなる
 【基本事務事業】 1901 人と車を分離する

【節】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興
 【項】 都市基盤の整備
 【基本計画区分】 502 【担当課】 5032000 道づくり課

【方針(目的)】
 交通事故死亡者数について 実績値 12人(H18)を 目標値 8人にする。

【外部環境の変化】
 道路を段階別に車と人が独立して使えたり、共存して使えるようにする。このため、歩道の整備等により人と車の分離を行う。

【取組み課題(現状と課題)】
 平成17年7月に策定された「松戸市交通バリアフリー基本構想」をもとに、市民の方々と関係事業者と連携を図りながら、事業計画を進捗させ、なお一層のバリアフリー化を推進していく。

コード 配下事務事業名
 190101 都市計画道路拡幅整備事業
 190102 道路財産管理事業
 190103 道路機能管理事業

【指標】 [H20] [H21] [H22]
 歩道整備延長 (km)
 0 0 0
 ()

【内部要因(強み・弱み)】
 本市は、高度成長期の東京圏の人口集中の受け皿として昭和30年代後半より人口が急増し、主に都市基盤の整備に力を注いだ結果、道路実延長が近隣市と比較して長い。(市道 1.078km)その反面、老朽化した道路や維持整備が必要な道路が多いことや、歩道のない生活道路が数多くあることが問題となっている。ユニバーサルデザインのまちづくりの推進とともに交通弱者重視の交通対策が重要となっており、車と交通弱者との工

【目指す成果(今後の方針)】
 現地調査などで市内の道路の現況を正確に把握し、既存道路の維持補修を重点とした整備計画を策定し、計画的な整備を実施していく。

【事務事業】 190101 都市計画道路拡幅整備事業

担当課: 5032000 道づくり課

【目的】
 交通の円滑化(走りやすさ)と歩行者の安全確保(歩きやすさ)を図る。また救急医療車両交通及び災害時の避難路や緊急物資の輸送路等を確保するために、現道を拡幅する。

【対象】
 道路利用者

【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]
道路整備率 (%)	整備済延長/整備予定延長 (換算延長)	5	3	3	3
()		0	0	0	0
()		0	0	0	0

会計区分 一般会計			計画区分 一般事業		
【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]	
計画額	73,541	58,292	45,000	45,000	
(一般財源)	43,699	49,292	36,000	36,000	
(単位:千円)					
職員数	5.6	5.6	5.6	5.6	
(単位:人)					

- 【関連する業務名称】
- 3・4・35号線街路整備業務
 - 3・5・30号線街路整備業務
 - 3・4・16号線街路事業負担金
 - 3・4・17号線街路事業負担金
 - 3・4・20号線街路整備業務

【事前評価コメント】
 道路の利用実態(歩道利用)把握や危険度把握調査の制度が未整備である。事業主体の決定方法や事業手法を検討する。歩道空間(歩道)のバリアフリー化を進め安全な生活環境を高めていく。

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 190102 道路財産管理事業		担当課: 5031000 建設総務課					会計区分 一般会計					計画区分 一般事業				
【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
市道の区域を明確にするため、官民境界の確認を行い、道路台帳図面及び調書を調整する。	市道境界確定率 (%)	道路境界確定延長/道路認定実延長	61.5	62.5	63	63.5	計画額 (一般財源) (単位:千円)	124,768 122,211	120,128 118,349	118,178 116,399	121,604 119,825					
	()		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	13.5	13.5	13.5	13.5					
【対象】			0	0	0	0	【関連する業務名称】 道路管理業務 道路管理システム業務									
市道に利害を有する人	()															
【事前評価コメント】 市道の区域を明確にすることにより、市道の適切な整備と維持管理をすることができる。																

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 190103 道路機能管理事業

担当課: 5031000 建設総務課

【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	会計区分 一般会計			計画区分 計画事業				
				[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	【基準年】	[H20]	[H21]	[H22]
人の歩行や車の走行に支障がないように、道路の使用等について適切な指導を行なう。効率的な道路整備を実施するための道路整備計画ができています。	管理瑕疵による事故件数 (件)	道路事故に伴う損害賠償件数	7	0	0	0	【事業費】	【基準年】	[H20]	[H21]	[H22]
	道路整備計画完成度 (%)	路面データ整備済延長 / 幹線市道延長	0	10	40	70	計画額 (一般財源) (単位: 千円)	2,566	5,134	20,134	20,234
【対象】 道路利用者	()		0	0	0	0	職員数 (単位: 人)	4	4	4	4
							【関連する業務名称】 道路使用管理業務 私道整備業務 道路占用業務 道路維持管理システム業務				

【事前評価コメント】
道路の使用等について適切な指導を行なうことにより、人の歩行と車の走行を円滑にすることができる。

【計画事業】

【実施計画番号】 82 【計画事業名】 市道の路面状態を測定し維持管理データベースを構築することによって、効率的な道路整備計画を策定します

【節項コード】 502 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【項名】 都市基盤の整備

	H20	H21	H22
計画	道路等の管理瑕疵により事故が発生した場合の補填のための保険料・補償限度額 対人5千円 対物1事故1千万円	道路等の管理瑕疵により事故が発生した場合の補填のための保険料・補償限度額 対人5千円 対物1事故1千万円	道路等の管理瑕疵により事故が発生した場合の補填のための保険料・補償限度額 対人5千円 対物1事故1千万円
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】	19 誰もが安心してスムーズに移動できるようにする	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	1 歩行者等が移動しやすくなる	【項】	都市環境の整備
【基本事務事業】	1902 道路の障害を取り除く	【基本計画区分】	501 【担当課】 5033000 道路維持課

【方針(目的)】	市道の道路整備を実施する。			【外部環境の変化】	誰もが安全で安心して歩けるまちをめざし、移動の障害要因を少なくする。	【取組み課題(現状と課題)】	昭和40年代の区画整理事業等により現在の道路網が形成され、劣化及び交通量の増加・車両の大型化による道路の破損が多く、その破損状況をランク付けし計画的に道路整備を実施して行く。しかしながら、予算的に要望件数を全て整備するのが困難である。	コード	配下事務事業名
【指標】	[H20]	[H21]	[H22]	【内部要因(強み・弱み)】	本市は、市街化区域の約4割が土地区画整理事業により整備されているが、残りの大部分が高度成長期に開発された低層住宅密集地となっている。密集市街地をはじめとする都市基盤整備の遅れている地区には、防災の観点からも問題となる狭あい道路があり、歩きやすい、移動しやすい道路という面からもその解消が課題となっている。	【目指す成果(今後の方針)】	道路維持管理及びバリアフリーを考慮した道路整備事業を実施する。	190201	道路維持管理事業
道路補修整備率	30	30	30					190202	道路改良事業
(%)	0	0	0					190203	県施行工事地元負担金
()								190204	橋りょう改良事業
								190205	橋りょう架換工事負担金
								190206	橋りょう維持管理事業
								190207	道路橋りょう災害復旧事業
								190208	狭あい道路拡幅整備事業

【事務事業】	190201 道路維持管理事業	担当課:	5033000 道路維持課
【目的】	安全で快適な道路環境を確保する	会計区分	一般会計
【指標】	道路陥没等修繕率	計画区分	一般事業
【指標概要】	修繕箇所/陥没箇所単年度事業	【事業費】	【基準年】
基準値	100	[H20]	420,641
[H20]	100	[H21]	435,865
[H21]	100	[H22]	451,135
[H22]	100	【事業費】	398,244
【事業費】	100	【基準年】	359,815
[H20]	100	[H20]	420,641
[H21]	100	[H21]	435,865
[H22]	100	[H22]	451,135
【職員数】	15	【関連する業務名称】	補修業務
(単位:人)	15		清掃業務
	15		安全施設整備業務
	15		路上駐車対策業務
【対象】	道路を利用する者		
【事前評価コメント】	道路整備事業費の減少により、応急的な道路陥没等が多くなり、今後の予算増が必要となる。		

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 190202 道路改良事業		担当課: 5033000 道路維持課										
【目的】		会計区分 一般会計			計画区分 計画事業							
道路の計画的な整備を行う。		【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
		道路舗装補修整備率 (%)	補修整備面積/補修面積 単年度事業	30	30	30	30	計画額 (一般財源) (単位:千円)	808,180 721,529	836,000 636,000	886,000 636,000	1,036,000 636,000
		側溝補修整備率 (%)	補修整備延長/補修延長単年度事業 単年度事業	30	30	30	30	職員数 (単位:人)	4	4	4	4
【対象】		【関連する業務名称】										
道路を利用する者		歩道補修整備率 (%)	補修整備面積/補修面積単年度事業	30	30	30	30	道路改良業務 松戸駅西口周辺道路整備業務				
【事前評価コメント】 道路整備事業であるが、計画に対して予算が伴わない現状であるため、出来るだけの整備を行う。												

【計画事業】

【実施計画番号】 83 【計画事業名】 駅や歩道のバリアフリーの推進と、意識の高揚を図り、移動機能を向上させます
 【節項コード】 501 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興
 【項名】 都市環境の整備

	H20	H21	H22
計画	道路の補修整備 舗装補修 180000m ² 側溝補修 24000m 歩道補修 6000m	道路の補修整備 舗装補修 180000m ² 側溝補修 24000m 歩道補修 6000m	道路の補修整備 舗装補修 180000m ² 側溝補修 24000m 歩道補修 6000m
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		190203 県施工事地元負担金	担当課: 5033000 道路維持課								
【目的】			会計区分 一般会計			計画区分 一般事業					
県道の整備事業費の一部を負担する	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	【基準年】	[H20]	[H21]	[H22]
	県道整備事業費負担率 (%)	市負担 / 県事業費単年度事業	100	100	100	100	計画額 (一般財源) (単位: 千円)	5,757 5,757	5,000 5,000	5,000 5,000	5,000 5,000
	()		0	0	0	0	職員数 (単位: 人)	0.5	0.5	0.5	0.5
【対象】			【関連する業務名称】								
県道を利用する者	()		0	0	0	0					
		【事前評価コメント】 県道整備を要請する。									

【事務事業】		190204 橋りょう改良事業	担当課: 5033000 道路維持課								
【目的】			会計区分 一般会計			計画区分 一般事業					
老朽化した道路橋の架替えを行う	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	【基準年】	[H20]	[H21]	[H22]
	道路橋架換率 (%)	道路橋架換数 / 道路橋数	0	0	0	0	計画額 (一般財源) (単位: 千円)	0 0	0 0	0 0	0 0
	()		0	0	0	0	職員数 (単位: 人)	0	0	0	0
【対象】			【関連する業務名称】								
道路橋を利用する者	()		0	0	0	0					
		【事前評価コメント】 道路橋の架換を実施する事業であるが、計画・予算も未定である。									

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		190205 橋りょう架換工事負担金		担当課: 5033000 道路維持課				会計区分 一般会計						
【目的】		【指標】		【指標概要】		基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	【基準年】	[H20]	[H21]	[H22]
河川改修に伴う道路橋の架替えを行う	道路橋架換事業費負担率	(%)	市負担 / 全体工事費	2ヵ年事業	事業費の1 / 2負担千葉県真間川改修事務所で工事を実施。	0	50	50	50	計画額 (一般財源) (単位: 千円)	0	31,000	31,000	31,000
	()	()	()	()	()	0	0	0	0	職員数 (単位: 人)	0.5	0.5	0.5	0.5
【関連する業務名称】														
【対象】		道路を利用する者				0	0	0	0					
【事前評価コメント】 国分川改修事業に伴い、道路橋の架換え工事費を負担する。20年度からの予定であるが、遅れる場合もある。2ヵ年事業予定 事業費の1 / 2負担千葉県真間川改修事務所で工事を実施。														

【事務事業】		190206 橋りょう維持管理事業		担当課: 5033000 道路維持課				会計区分 一般会計						
【目的】		【指標】		【指標概要】		基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	【基準年】	[H20]	[H21]	[H22]
道路橋等の維持管理を行う	橋りょう補修率	(%)	整備箇所数 / 補修箇所	単年度事業		100	100	100	100	計画額 (一般財源) (単位: 千円)	72,726	49,000	60,000	50,000
	()	()	()	()	()	0	0	0	0	職員数 (単位: 人)	2	2	2	2
【関連する業務名称】 補修業務														
【対象】		道路橋等を使用する者				0	0	0	0					
【事前評価コメント】 橋りょうの維持管理であるが、予算の減少により実施予定が延びている。														

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 190207 道路橋りょう災害復旧事業		担当課: 5033000 道路維持課									
【目的】		会計区分 一般会計				計画区分 一般事業					
災害発生時の復旧工事を行う	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	【基準年】	[H20]	[H21]	[H22]
	災害復旧工事率 (%)	災害復旧箇所 / 災害を受けた箇所 年度事業	0	100	100	100	計画額 (一般財源) (単位: 千円)	0	1	1	1
	()		0	0	0	0	職員数 (単位: 人)	0.5	0.5	0.5	0.5
							【関連する業務名称】				
【対象】			0	0	0	0					
被害を受けた住民	()										
【事前評価コメント】		災害が発生した場合、公共により復旧事業を行う。									

【事務事業】 190208 狭あい道路拡幅整備事業		担当課: 5024000 建築指導課									
【目的】		会計区分 一般会計				計画区分 一般事業					
狭あい道路(幅員4m未満、1.8m以上)を将来的に4m幅の道路にするため、建築物を建築するときに敷地を後退した部分を道の形態に整備する。	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	【基準年】	[H20]	[H21]	[H22]
	狭あい道路拡幅整備率 (%)	建築に伴う拡幅整備済箇所数 / 建築に伴う拡幅整備対象箇所数	92	92	93	94	計画額 (一般財源) (単位: 千円)	322	333	333	333
	()		0	0	0	0	職員数 (単位: 人)	3.05	2.35	2.35	2.35
							【関連する業務名称】				
【対象】			0	0	0	0	拡幅指導業務 建築基準法道路確定業務				
狭あい道路に接する土地の所有者	()										
【事前評価コメント】		全路線の調査記録時間を極力短縮し、後退部分の整備支援を強化して整備率を上げる。									

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】	19 誰もが安心してスムーズに移動できるようにする	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	1 歩行者等が移動しやすくなる	【項】	都市基盤の整備
【基本事務事業】	1903 高齢者・障害者等の移動機能を向上させる	【基本計画区分】	502 【担当課】 5021100 都市計画課・交通計画担当室

【方針(目的)】	高齢者及び障害者を含む全ての市民の、主要施設への移動や主要施設内の移動円滑化を図る。	【外部環境の変化】	ユニバーサルデザインやバリアフリーなど、少子高齢化にも対応した人にやさしい快適でスムーズな移動が求められている。	【取組み課題(現状と課題)】	駅や歩道のバリアフリーの推進と、意識の高揚を図り、移動機能を向上させます。	コード	配下事務事業名
						190301	バリアフリー基本構想事業
						190302	バリアフリー推進事業

【指標】	[H20]	[H21]	[H22]	【内部要因(強み・弱み)】	【目指す成果(今後の方針)】
主要施設のバリアフリー整備率 (%)	43	51	71	鉄道網が充実し、鉄道駅を中心とした移動がしやすい。「交通バリアフリー基本構想」など、公共空間を誰もが円滑に移動できるための施策に取り組んでいる。	バリアフリー基本構想に基づく、重点整備地区及び整備推進地区において、駅舎や特定施設への移動が円滑に行えるようになります。
	0	0	0		

【事務事業】 190301 バリアフリー基本構想事業 担当課: 5021100 都市計画課・交通計画担当室

【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	会計区分 一般会計			計画区分 一般事業				
				[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
市民が利用する主要な施設まで経路や施設のバリアフリー化を図る。	特定事業計画作成 (%)	松戸地区の特定事業計画が未策定	0	100	100	100	計画額 (一般財源) (単位:千円)	1,500 1,500	909 909	1,500 1,500	909 909
	啓発冊子導入率 (%)	啓発冊子を小学校4年生の授業に導入している小学校数/市内小学校数	2.3	45.5	68.2	100	職員数 (単位:人)	0.6	0.6	0.6	0.6
【対象】			0	0	0	0	【関連する業務名称】 基本構想業務 特定事業調整業務 啓発業務				
高齢者及び障害者等を含むすべての市民	()										

【事前評価コメント】
課題:次期重点整備地区の選定。啓発冊子の活用法。方向性:特定事業計画の進捗を把握する(松戸地区)。次期重点整備地区の選定を行う。啓発冊子を授業に導入する小学校を増やす。

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 190302 バリアフリー推進事業		担当課: 5021100 都市計画課・交通計画担当室										
【目的】		会計区分 一般会計				計画区分 計画事業						
市民が利用する主要な施設までの経路やその施設のバリアフリー化を図る。		【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	【基準年】	[H20]	[H21]	[H22]
		駅のラシレット整備率 (%)	ラシレット整備済駅数/バリアフリー化対象駅数	42.1	52.6	57.9	73.7	計画額 (一般財源) (単位:千円)	81,500 54,834	212,595 173,101	181,229 118,322	169,404 100,416
		駅周辺の特定経路等の整備率 (%)	整備済距離/整備計画距離	8.3	19.1	26	42.4	職員数 (単位:人)	3.6	5.6	5.6	5.6
【対象】 高齢者及び障害者等を含むすべての市民		都市公園出入口のバリアフリー化率 (%)	バリアフリー化達成公園数/市内都市公園数	42.8	46.5	50	53.2	【関連する業務名称】 鉄道駅バリアフリー化促進業務 交通バリアフリー道路計画業務 交通バリアフリー道路整備業務 駐車場バリアフリー業務 福祉のまちづくり推進業務 建築物バリアフリー業務 公園バリアフリー業務 地区基本構想策定業務 特定事業調整業務 啓発業務				
【事前評価コメント】 課題:市内の鉄道駅数は近隣市と比べ、23駅と非常に多く、整備面から見ても、莫大な費用と時間を要す。方向性:高齢者や身障者等の移動制約者を含めた全ての市民が円滑に移動できるように市内施設の整備促進や事業者への支援を図る。												

【計画事業】

【実施計画番号】 83 【計画事業名】 駅や歩道のバリアフリーの推進と、意識の高揚を図り、移動機能を向上させます
 【節項コード】 502 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興
 【項名】 都市基盤の整備

	H20	H21	H22
計画	バリアフリー化の推進・鉄道駅(新松戸駅)・道路(松戸駅 東口 - 工事、西口 - 基本設計)・駐車場・建物・公園特定事業計画進捗把握(松戸地区)啓発事業の推進(啓発冊子の活用)	バリアフリー化の推進・鉄道駅(北小金駅)・道路(松戸駅 東口 - 工事、西口 - 詳細設計)・駐車場・建物・公園特定事業計画進捗把握(松戸地区)次期重点整備地区の選定啓発事業の推進(啓発冊子の活用)	バリアフリー化の推進・鉄道駅(新八柱駅)・道路(松戸駅 東口 - 工事、西口 - 工事、馬橋駅 - 基本設計)・駐車場・建物・公園特定事業計画進捗把握(松戸地区)啓発事業の推進(啓発冊子の活用)
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)
 ああああ

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】	19 誰もが安心してスムーズに移動できるようにする	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	2車で移動しやすくなる	【項】	
【基本事務事業】	1904 幹線道路を連続させる	【基本計画区分】	552 【担当課】 5021000 都市計画課

【方針(目的)】 道路密度について実績値2.41km/km ² (H18)を目標値2.46km/km ² にする。	【外部環境の変化】 ユニバーサルデザインやバリアフリーなど、少子高齢化にも対応した人にやさしい快適でスムーズな移動が求められている。	【取組み課題(現状と課題)】 事業箇所を限定して幹線道路の効果的な整備をします。 (改善-行政)19WG-0	コード 配下事務事業名 190401 国・県道に関する整備要請事業 190402 都市計画道路計画策定事業 190403 広域幹線道路整備促進事業 190404 都市計画道路新設整備事業 190405 街路関係事業
--	---	--	--

【指標】	[H20]	[H21]	[H22]	【内部要因(強み・弱み)】 幹線道路の交通渋滞の恒常化により移動時間が増える。用地交渉の難航により道路整備が遅れる。	【目指す成果(今後の方針)】 3・3・7号横須賀紙敷線の、二ツ木・幸谷区間が供用に 向けて整備中です。また、三矢小台地先交差点が、外環 道路の一部供用開始に伴い、改良されています。
ネットワーク率 (%)	70.4	71.2	71.3		
	0	0	0		

【事務事業】	190401 国・県道に関する整備要請事業	担当課: 5031000 建設総務課
【目的】	国及び千葉県が所管する幹線道路について、道路整備を早期に実現できるように国・県に整備要請をする。	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業
【指標】	【指標概要】	基準値 [H20] [H21] [H22] 【事業費】 [基準年] [H20] [H21] [H22]
整備要請箇所の整備率 (%)	整備延長 / 整備要請延長	計画額 (一般財源) (単位: 千円)
()	()	職員数 (単位: 人)
		【関連する業務名称】
【対象】	国道及び県道を利用する市民及び利用者すべて	
【事前評価コメント】 国・県の管理する幹線道路の整備要請を行い、整備が促進されることにより、市内での移動が容易となる。		

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		190402	都市計画道路計画策定事業		担当課: 5021000 都市計画課									
【目的】		[指標]		[指標概要]		基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
将来の道路ネットワーク、道路構造を明らかにすることにより、道路沿道にふさわしい土地利用を誘導するとともに、道路予定地内の土地利用を制限し、事業実施に備える。		幹線道路線密度 (km)	市街化区域内計画決定延長/市街化区域面積1kmあたりの幹線道路延長		2.41	2.44	2.47	2.47	計画額 (一般財源) (単位:千円)	0	0	0	0	0
		()			0	0	0	0	職員数 (単位:人)	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1
【対象】		[指標]		[指標概要]		0	0	0	0	【関連する業務名称】 計画策定業務 調査検討業務				
市内を自動車交通等で移動する市民		()			0	0	0	0						
【事前評価コメント】 課題:市民との合意形成。計画決定と事業実施との時間的なズレが大き過ぎる。方向性:合意形成のための機会の充実。出来る限り実現性を担保する。														

【事務事業】		190403	広域幹線道路整備促進事業		担当課: 5021000 都市計画課									
【目的】		[指標]		[指標概要]		基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
高規格幹線道路網(高速自動車国道等)による全国各地への移動時間の短縮を図るため、市内及び近隣市を通るこれらの道路(北千葉、外かん等)の早期整備の要請を行なう。		市内及び市外近傍にあるIC数 (箇所)	市内及び市境から4km圏内にある三郷・流山市内の供用開始したIC数対象IC 三郷・三郷南・松戸・流山		3	3	3	3	計画額 (一般財源) (単位:千円)	180	180	180	180	180
		()			0	0	0	0	職員数 (単位:人)	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
【対象】		[指標]		[指標概要]		0	0	0	0	【関連する業務名称】 各種期成同盟負担金 外かん道路整備関連業務				
松戸市から広域へ自動車交通で移動する市民		()			0	0	0	0						
【事前評価コメント】 課題:経済環境等の問題により、道路整備の進捗が難しい。方向性:関係自治体と協同し、粘り強く要請していく。														

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 190404 都市計画道路新設整備事業		担当課: 5032000 道づくり課					会計区分 一般会計					計画区分 計画事業				
【目的】		【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	【基準年】	[H20]	[H21]	[H22]				
市内既存道路の交通渋滞を解消するとともに、市内の各生活圏及び隣接地域への交通連絡性(移動機能)を高めること、さらに救急医療車両交道路及び災害時の避難路や緊急物資の輸送路等を確保するために新設整備する。		道路整備率	整備済延長/整備予定延長 (換算延長)	2	16	5	6	計画額	206,696	780,859	246,727	284,699				
		(%)						(一般財源)	101,646	204,124	131,492	93,464				
【対象】 道路利用者		()		0	0	0	0	職員数	4.6	4.6	4.6	4.6				
		()						(単位:人)								
		【関連する業務名称】 3・3・6号線街路整備業務(和名ヶ谷) 3・3・6号線街路整備業務(八ヶ崎) 3・3・7号線街路整備業務(幸谷・二ツ)														
		【事前評価コメント】 権利者・関係機関等との調整を含め、整備完了まで長期間を必要とする。都市間交通の連絡強化や道路ネットワーク形成を進め交通の円滑化(安全性、快適性)を高めていく。														

【計画事業】

【実施計画番号】 84 【計画事業名】 事業箇所を限定して幹線道路の効果的な整備をします
 【節項コード】 502 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興
 【項名】 都市基盤の整備

	H20	H21	H22
計画	路線別進捗状況3・3・6号(八)進捗率 6% 3・3・7号(二)進捗率 26%	路線別進捗状況3・3・6号(八)進捗率 6% 3・3・7号(二)進捗率 4%	路線別進捗状況3・3・6号(八)進捗率 6% 3・3・7号(二)進捗率 6%
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 190405 街路関係事業

担当課: 5032000 道づくり課

【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	会計区分 一般会計			計画区分 一般事業				
				[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
都市計画道路整備に関する庶務的業務	円滑な庶務的業務 ()		0	0	0	0	計画額 (一般財源) (単位:千円)	3,242 0	4,009 0	4,009 0	4,009 0
			0	0	0	0	職員数 (単位:人)	3.8	3.8	3.8	3.8
【対象】 業務職員	()		0	0	0	0	【関連する業務名称】 各路線整備の財源支援(補助金等)の 予算等の管理をする 用地確保部の管理をする				
【事前評価コメント】 都市計画道路整備に関する庶務的業務及び関係機関等との調整等を担う。											

【政策】 19 誰もが安心してスムーズに移動できるようにする
 【施策】 2 車で移動しやすくなる
 【基本事務事業】 1905 渋滞箇所をなくす

【節】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興
 【項】 都市基盤の整備
 【基本計画区分】 502 【担当課】 5032000 道づくり課

【方針(目的)】
 松戸市における渋滞箇所の解消

【外部環境の変化】
 交差点や鉄道横断箇所等、道路の構成や構造上の問題として発生する渋滞箇所の解消を行う。

【取組み課題(現状と課題)】
 ・事業箇所を限定して幹線道路の効果的な整備をします。・財政難による都市計画道路の用地買収の中断など新設の都市計画道路事業ははかどっていないが、交差点改良(右折レーン設置等)は渋滞箇所対策として非常に有効な手段となっている。また、本市は、市内を横断する国道・県道が多いため、国・県等と共同して市内の渋滞箇所の解消に努めていく必要がある。

コード 配下事務事業名
 190501 都市計画道路交差点改良事業

【指標】	[H20]	[H21]	[H22]
渋滞箇所数 (箇所)	26	26	25
交差点改良(三矢小台) (%)	71	89	100

【内部要因(強み・弱み)】
 移動手段としての自動車の交通量は増加しており、移動時間の短縮が求められているが、国道6号線や県道に接続する道路での交通渋滞が発生している。交差点(都市計画道路と市道との交差点)での交通渋滞を緩和するためには、交差点改良(右折レーン設置等)が有効な手段となっている。

【目指す成果(今後の方針)】
 ・3・3・7号横須賀紙敷線の、二ツ木・幸谷区間が供用に向けて整備中です。また、三矢小台地先交差点が、外環道路の一部供用開始に伴い、改良されています。・本市は、市内を横断する国道・県道が多いため、国・県等と共同して市内の渋滞箇所の解消に努めていく必要がある。

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 190501 都市計画道路交差点改良事業

担当課: 5032000 道づくり課

【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	会計区分 一般会計			計画区分 計画事業				
				[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	【基準年】	[H20]	[H21]	[H22]
交差点(都市計画道路と市道との交差点)での交通渋滞を緩和するために、交差点改良(右折レーン設置・歩道確保等)を実施する。	用地取得状況 (%)	当該年度取得面積/事業用地取得全体面積	7	32	9	0	【事業費】	【基準年】	[H20]	[H21]	[H22]
							計画額	120,029	312,183	159,465	116,865
							(一般財源)	62,529	169,121	84,084	73,028
							(単位:千円)				
	工事進捗状況 (%)	当該年度施工距離/工事総延長167m	0	50	0	50	職員数	1.4	1.4	1.4	1.4
							(単位:人)				
【対象】 道路利用者	()		0	0	0	0	【関連する業務名称】 交差点改良業務(三矢小台地先) 交差点改良業務(小金きよヶ丘地先)				

【事前評価コメント】
歩車道の整備を図るため、拡幅及び既存スペースでの有効活用(右折レーン設置、バリアフリーを考慮した歩道空間の確保)で交通の円滑化(安全性、快適性)を高めていく。

【計画事業】

【実施計画番号】 84 【計画事業名】 事業箇所を限定して幹線道路の効果的な整備をします
 【節項コード】 502 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興
 【項名】 都市基盤の整備

	H20	H21	H22
計画	用地取得率主1-25号 32%(全体面積682m) 工事進捗率主1-25号 50%	用地取得率主1-25号 9%(全体面積682m) 工事進捗率主1-25号 0%	用地取得率主1-25号 0%(全体面積682m) 工事進捗率主1-25号 50%
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】 19 誰もが安心してスムーズに移動できるようにする

【節】 未設定

【施策】 2 車で移動しやすくなる

【項】

【基本事務事業】 1906 経済活動拠点へのアクセスをよくする

【基本計画区分】 0 【担当課】 5022100 都市整備課・市街地整備担当室

【方針(目的)】
道路密度について実績値2.39km/km²(H13)を目標値2.45km/km²にする。

【外部環境の変化】
松戸駅をはじめとする駅周辺の商業地域への自動車での乗り入れを便利にする。

【取組み課題(現状と課題)】
官民の役割分担のなか、増加する駐車需要に見合った民間駐車場の整備を促進することにより違法駐車などを排除し交通渋滞をなくし商業地域へスムーズに到着できるようにする。

コード	配下事務事業名
190601	駐車場整備事業
190602	西口駐車場運営事業
190603	一般会計繰出金(西口駐車場運営事業)
190604	予備費(西口駐車場運営事業)
190605	駐車場事業特別会計繰出金(西口駐車場運営)

【指標】	[H20]	[H21]	[H22]
駐車場供給台数	2700	2700	2700
(台)			
()	0	0	0
()			

【内部要因(強み・弱み)】
駅周辺の商業地域は慢性的に駐車場不足であり、違法駐車した車が交通の妨げとなっている。

【目指す成果(今後の方針)】
車から公共交通へと交通手段を変えることが望まれるので、公共交通が利用しやすい環境づくりが必須となる。

【事務事業】 190601 駐車場整備事業

担当課: 5021000 都市計画課

【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	会計区分 一般会計			計画区分 一般事業					
				[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]	
都心部への自動車交通の集中と増大する駐車需要に対処するため、民間駐車場の整備を促進する。	駐車場供給台数		2700	2700	2700	2700	【事業費】					
	(台)						計画額	0	0	0	0	
	()						(一般財源)	0	0	0	0	
【対象】 自動車を利用する市民及び来訪者	()		0	0	0	0	職員数	0.9	0.9	0.9	0.9	
	()						(単位:人)					
	()		0	0	0	0	【関連する業務名称】					
							駐車場法関連指導業務					
							駐車場整備計画更新業務					
							民間駐車場建設費補助金					

【事前評価コメント】
市で整備計画は策定するが、実際の整備主体は個人及び民間機関等になるため、具体的な整備の時期及び規模等まで踏み込むことが、難しい。

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 190602 西口駐車場運営事業		担当課: 5022100 都市整備課・市街地整備担当室									
		会計区分 駐車場事業特別会計				計画区分 一般事業					
【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
中心部の自動車交通の集中と増大する駐車需要に対処するため、民間駐車場の整備を促進する。	率修正回転 (時間)	1日の駐車時間数/138台	35000	35000	35000	35000	計画額 (一般財源) (単位:千円)	90,960 90,960	90,000 90,000	87,000 87,000	95,000 95,000
	違反駐車数 (%)	現年/前年	0	0	0	0	職員数 (単位:人)	1.9	1.9	1.9	1.9
【対象】 市民及び駐車場利用者	()		0	0	0	0	【関連する業務名称】 施設維持管理業務 管理委託業務 施設整備業務				
【事前評価コメント】											

【事務事業】 190603 一般会計繰出金(西口駐車場運営事業)		担当課: 5022100 都市整備課・市街地整備担当室									
		会計区分 駐車場事業特別会計				計画区分 一般事業					
【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
	駐車場会計から一般会計へ繰出金 (円)	駐車場会計の黒字により	35000	35000	0	35000	計画額 (一般財源) (単位:千円)	35,000 35,000	35,000 35,000	35,000 35,000	35,000 35,000
	()		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	0	0	0	0
【対象】	()		0	0	0	0	【関連する業務名称】				
【事前評価コメント】 21年度は、大規模修繕のため繰出金は停止											

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】	190604 予備費(西口駐車場運営事業)	担当課: 5022100 都市整備課・市街地整備担当室
【目的】		会計区分 駐車場事業特別会計 計画区分 一般事業
	[指標] [指標概要]	基準値 [H20] [H21] [H22] 【事業費】 [基準年] [H20] [H21] [H22]
	()	0 0 0 0 計画額 5,000 5,000 5,000 5,000 (一般財源) 5,000 5,000 5,000 5,000 (単位: 千円)
	()	0 0 0 0 職員数 0 0 0 0 (単位: 人)
【対象】	()	0 0 0 0
	【事前評価コメント】	

【事務事業】	190605 駐車場事業特別会計繰出金(西口駐車場運営事業)	担当課: 5011000 都市整備本部企画管理室
【目的】		会計区分 一般会計 計画区分 一般事業
一般会計から駐車場事業特別会計に対し繰出しを実施することにより、駐車場事業会計の負担を軽減し、健全経営の維持を目的とする。	[指標] [指標概要]	基準値 [H20] [H21] [H22] 【事業費】 [基準年] [H20] [H21] [H22]
	『評価対象外』 ()	0 0 0 0 計画額 0 0 0 0 (一般財源) 0 0 0 0 (単位: 千円)
	()	0 0 0 0 職員数 0 0 0 0 (単位: 人)
【対象】	()	0 0 0 0
駐車場事業特別会計	【事前評価コメント】 駐車場事業特別会計において、平成17年度で公債費の償還が完了し、収支状況により黒字経営が見込まれるため、17年度以降は一般会計からの繰出しを実施する予定はない。	

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】	19 誰もが安心してスムーズに移動できるようにする	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	3 公共交通が利用しやすくなる	【項】	都市基盤の整備
【基本事務事業】	1907 輸送力を増強する	【基本計画区分】	502 【担当課】 5021100 都市計画課・交通計画担当室

【方針(目的)】	鉄道を利用する市民の移動性向上を図る。	【外部環境の変化】	少子高齢化にも対応した人にやさしい快適でスムーズな移動が求められている。既存の鉄道利用者が減少している。	【取組み課題(現状と課題)】	常磐線の東京駅乗入れ及び成田新高速鉄道一般特急の東松戸駅停車実現について要請します。	コード	配下事務事業名
						190701	鉄道輸送力増強要請事業
						190702	バス利用活性化事業
						190703	地下鉄11号線延伸促進事業

【指標】	[H20]	[H21]	[H22]	【内部要因(強み・弱み)】	【目指す成果(今後の方針)】
要請活動実施率	100	100	100	市内鉄道網は充実している。	鉄道による移動の利便性がより向上します。
(%)					
	0	0	0		
()					

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 190701 鉄道輸送力増強要請事業

担当課: 5021100 都市計画課・交通計画担当室

【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	会計区分 一般会計			計画区分 計画事業				
				[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
市内鉄道の利便性向上を図る	JR常磐線快速線混雑率 (%)	JR発表資料による理由:輸送力増強の効果として、最も捉えやすい指標	169	163	161	159	計画額 (一般財源) (単位:千円)	141,096 90,130	213,485 106,827	249,105 124,637	169 169
			0	0	0	0	職員数 (単位:人)	1.3	1.3	1.3	1.3
【対象】							【関連する業務名称】				
鉄道を利用する市民			0	0	0	0	各種期成同盟負担金 新駅設置要請業務 成田高速鉄道アクセス株式会社補助金				

【事前評価コメント】

課題:今後の鉄道需要は、増加が余り期待出来ないことから、鉄道事業者は大規模投資に消極的である。また行政側も財政事情から公的支援の拡大が困難である。方向性:既設路線の輸送力向上にならざるを得ない。

【計画事業】

【実施計画番号】 85 【計画事業名】 常磐線の東京駅乗り入れ及び成田新高速鉄道一般特急の東松戸駅停車実現について要請します

【節項コード】 502 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

【項名】 都市基盤の整備

	H20	H21	H22
計画	要請・支援活動関係機関協議成田高速鉄道アクセス(株)への補助	要請・支援活動関係機関協議成田高速鉄道アクセス(株)への補助	要請・支援活動関係機関協議
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		190702 バス利用活性化事業	担当課: 5021100 都市計画課・交通計画担当室									
【目的】			会計区分 一般会計			計画区分 計画事業						
移動制約者を含む全てのバス利用者の利便性を図り、バス交通利用を促進する。	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	【基準年】	[H20]	[H21]	[H22]	
	バス利用増減率 (%)	当年度バス利用者数 / H18年度バス利用者数	100	101	102	103	計画額 (一般財源) (単位: 千円)	3,233	4,400	4,400	4,400	
	ノンステップバス導入率 (%)	市内営業所におけるノンステップバス車両数 / 市内営業所における総車両数	28	33.3	36	38.7	職員数 (単位: 人)	1.1	1.1	1.1	1.1	
【対象】			0	0	0	0	【関連する業務名称】 ノンステップバス導入補助金 利用促進業務					
バス利用者	()											
【事前評価コメント】 課題: モータリゼーションの進展とともにバス交通需要は減少し路線廃止等が懸念される中、利便性を上げ潜在化した需要を戻し向上させるのが大きな課題である。方向性: バス交通基本計画に基づき、限られた財源を有効に使いバス利用を活性化させる。												

【計画事業】

【実施計画番号】 85 【計画事業名】 常磐線の東京駅乗り入れ及び成田新高速鉄道一般特急の東松戸駅停車実現について要請します
 【節項コード】 502 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興
 【項名】 都市基盤の整備

	H20	H21	H22
計画	ノンステップバス導入支援バス事業者連絡会業務関係機関との協議・調整	ノンステップバス導入支援バス事業者連絡会業務関係機関との協議・調整	ノンステップバス導入支援バス事業者連絡会業務関係機関との協議・調整
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		190703 地下鉄11号線延伸促進事業		担当課: 5021100 都市計画課・交通計画担当室									
【目的】		会計区分 一般会計			計画区分 一般事業								
【指標】		【指標概要】			基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
地下鉄11号線の建設を促進し、市民の利便性の増大を図り、以って地域の発展を期する。	事業化率	工事着手が可能となった区間ノ押上～松戸区間			0	0	0	0	計画額	1,554	1,558	1,558	1,558
	(%)								(一般財源)	1,554	1,558	1,558	1,558
									(単位: 千円)				
【対象】 鉄道利用者、及び、通勤・通学者を含む市民					0	0	0	0	職員数	0.4	0.4	0.4	0.4
	()								(単位: 人)				
									【関連する業務名称】				
【事前評価コメント】		課題: 事業主体・事業化手法。方向性: 事業主体・事業化手法・延伸等を検討し、早期実現を図る。 運政審答申第18号において、11号線は「平成27年までに整備着手することが適当な路線」と位置づけられているため、基準値・目標値は0%としている。											

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】	19 誰もが安心してスムーズに移動できるようにする	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	3 公共交通が利用しやすくなる	【項】	安全で安心な地域環境づくり
【基本事務事業】	1908 放置自転車対策をする	【基本計画区分】	404 【担当課】 3923100 生活安全課・自転車対策担当室

【方針(目的)】	駅周辺の放置自転車をなくし、安全な歩行空間を確保する。	【外部環境の変化】	駅の近くに自転車駐車場の設置が求められている。	【取組み課題(現状と課題)】	鉄道事業者などに対し駐輪場の設置を促す。	コード	配下事務事業名
						190801	自転車駐車場管理運営事業
						190802	放置自転車対策事業

【指標】	[H20]	[H21]	[H22]	【内部要因(強み・弱み)】	【目指す成果(今後の方針)】
市内放置自転車数	2079	1979	1800	放置防止キャンペーン、撤去活動を続けているが駅周辺駐輪場は増えず、放置自転車が減らない。	駅周辺の放置自転車を減らし、安全な歩行空間を確保する。
(台)	0	0	0		
()					

【事務事業】	190801 自転車駐車場管理運営事業	担当課:	3923100 生活安全課・自転車対策担当室
【目的】	駐輪場の利用者を適正に管理するため施設を再整備し、利用率と利便性の向上を図る。	会計区分	一般会計
【対象】	松戸市自転車駐車場利用者(通勤・通学者を含む)	計画区分	一般事業
【指標】	利用率	【指標概要】	自転車利用台数 / 収容可能台数
(%)		基準値	
()		[H20]	[H21]
()		[H22]	[H22]
		【事業費】	[基準年]
		計画額	435,265
		(一般財源)	1,899
		(単位:千円)	2,092
		職員数	2.72
		(単位:人)	2.72
		【関連する業務名称】	
		自転車駐車場管理委託業務	
		自転車駐車場管理代行業務	
		自転車駐車場維持管理業務	
		自転車駐車場整備業務	
【事前評価コメント】	駅からのアクセスにより利用が偏る傾向があるが、駅に近い場所を確保する事も困難であり、現在の確保した駐輪場の利用率の向上について施策を検討していく。		

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		190802 放置自転車対策事業	担当課: 3923100 生活安全課・自転車対策担当室									
【目的】			会計区分 一般会計			計画区分 計画事業						
自転車利用者に対し利用にあたっての責任と義務を求め、一方、駅周辺を自転車の放置禁止区域に指定し、放置自転車の規制を図る。	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]	
	市内放置自転車数(年間) (台)		2179	2079	1979	1800	計画額 (一般財源) (単位:千円)	106,635 64,040	106,919 64,324	106,919 64,324	106,919 64,324	
	()		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	7.48	7.48	7.48	7.48	
【対象】	放置禁止区域内に自転車を放置する者(通勤・通学者を含む)	()	0	0	0	0	【関連する業務名称】 放置自転車防止啓発業務 放置自転車撤去業務 保管所管理運営業務					
【事前評価コメント】 自転車を放置する者のモラル向上が必要。そのために自転車を放置させない為の啓発活動と、放置台数の多い午後などに自転車撤去を強化していきたい。												

【計画事業】

【実施計画番号】 79 【計画事業名】 鉄道事業者などに対し駐輪場の設置を促します
 【節項コード】 404 【節名】 安全で快適な生活環境の実現
 【項名】 安全で安心な地域環境づくり

	H20	H21	H22
計画	鉄道事業者や民間の自転車駐車場の促進	鉄道事業者や民間の自転車駐車場の促進	鉄道事業者や民間の自転車駐車場の促進
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)